

「喜界中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

喜界町立喜界中学校

2 学年・人数

女子生徒73人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

ア 1学期後半からの保健体育の授業（中学校校庭）

イ 令和2年9月4日（金）講師を招いて練習（中学校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和2年8月13日（日）第9回喜界中学校体育大会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

(1) 名称

八月踊り（はちがつおどり）

(2) 由来

「八月踊り」は町内の37集落に伝承されている。特に、集落ごとに行われる「豊年祭」や「島あそび」の際に踊られており、集落によって唄や踊り方に違いがある。また、踊られる行事も集落により異なっている。

(3) 構成等

「八月踊り」の特徴として、太鼓を持つのは原則として男性であり、皆が輪になり、同じ動きを繰り返しながら踊る。一昔前までは、唄者が実際に唄いながら踊っていたが、現在ではCDを音源として用いて踊っている。

5 保存会や地域との連携の具体

喜界島郷土研究会が中心となって、各集落の八月踊りDVDを製作した。中学校においては、集落の方に直接指導を受けるが、始めは踊りを覚えるためにこのDVDを活用している。集落によって唄や踊り方が違うため、毎年集落を決めて、その集落の八月踊りを行っている。本年度は、嘉鈍集落の「八月踊り」の練習に取り組み、体育大会で発表した。

なお、例年、喜界高校の生徒と一緒に合同練習を行い、町民体育祭で発表しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、合同練習及び町民体育祭は中止となった。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

毎年、該当する集落の方に事前に指導をしてもらっている。体育大会等での八月踊りの発表を行うことは、数十年と歴史は長く、八月踊りを楽しみにしている高齢者や地域の方も多し。

7 取組の様子



【講師を招いての練習】



【体育大会での発表】

8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想や意見

【生徒】

- ・ みんなで楽しく取り組むことができました。(1年)
- ・ 最初は、恥ずかしかったけど、途中から楽しくできた。(1年生)
- ・ 練習の時間が少なかったけど、上手く発表することができた。(2年生)
- ・ 地域の方に教えてもらえてよかったです。(3年生)
- ・ 八月踊りは、集落ごとに動きが違うので覚えるのが大変だった。でも、しっかりと覚えることができた。(3年)

【教職員】

- ・ 生徒は、積極的に練習に取り組んでいた。小さい頃から慣れ親しんでいるため、取組や動きもスムーズであった。
- ・ 毎年、地域の方を講師として招き指導をしていただいております。生徒も自然な流れで踊りの練習に取り組んでいた。このような機会を設けることは大切だと感じた。

【地域の指導者】

- ・ 生徒は素直に練習に取り組んでくれた。自分たちの育った地域の伝統芸能に興味をもって取り組んでくれることはよいことだと思う。